平成二十九年度門川町「こども俳句大会」作品集

西門川中学校

【一年生】

赤とんぼ秋の始まり教えてる　石塚　巧都
冷房がなければ部屋がサウナだな　石塚　巧都
かぶとむし夜中に空を飛んでいる　一政　亮介
秀逸すいかたち市場に置かれて楽しそう　一政　亮介
自転車で部活に行くよへとへとだ　木下　慎司
公園でセミが鳴いている真夏かな　木下　慎司
セミの声大きく聞こえる近くかな　黒木　修
カブトムシどれが一番強いかな　黒木　修
溶けていく早く食べようかき氷　桑村　祐月
お昼ご飯冷たいそうめん最高だ　桑村　祐月
夏休みごろごろしているいつまでも　後藤　央
扇風機どこでもあたるすずしいな　後藤　央
秋の空色とりどりの大きな花　篠塚　健二
風りんのねいろにさそわれ昼寝する　篠塚　健二
ジメジメと夏の暑さをなつかしむ　渋谷　旭
夏の夜いろんな虫の声を聞く　渋谷　旭
入選柔道で汗がだらだら夏二倍　前﨑　大河
夏の日に夏の川見て夏しのぐ　前﨑　大河
夏休みぼくをしかる母の声　米良　武尊
冷蔵庫冷たいアイス美味しいなぁ　米良　武尊
夏休み甲虫捕れずに悲しいな　山下　悠斗
宿題が終わらず母に角生える　山下　悠斗
七夕に願いを書いて叶ったよ　今村　胡春
せみの声涼しさ求めて歌い出す　今村　胡春
盆踊りみんな踊って楽しそう　上田　妃萌
天の川早く見たいな本物を　上田　妃萌
夏の夜揺れる星は蛍火かな　黒田　結衣
初秋に勝負の風吹いている　黒田　結衣
朝台所へ私は歩いてバナナのもとへ　今村　胡幸
昼寝暑くて死にそう太陽さん　今村　胡幸

【二年生】

なつまつりとてもおいしいかき氷　甲斐　圭祐
たねとばすすいかまるごと食べたいな　甲斐　圭祐
暗き夜の咲きたる光る花　斎藤　琉晴
目をこらしゆらゆら動くは陽炎か　斎藤　琉晴

【二年生】

夏の空見れば見るほど眠くなる　坂本　大和
月を見てとてもきれいと思う僕　坂本　大和
中学は宿題あるがひまはない　下田拳太郎
夏休み宿題あるから遊べない　下田拳太郎
さみしげな線香花火ありがとう　松田　聖蓮
真夏の日燃えたぎるのは俺の心　松田　聖蓮
夏休み感想文をやっつけた　森　海斗
夏休み自由研究やっつけた　森　海斗
墓参り花にとまりしアゲハチョウ　宮本つばさ
朝目さす目覚まし時計夏のせみ　宮本つばさ
稲妻が曇天の中かけめぐる　黒木　結月
夕焼で赤く染まりし夏の空　黒木　結月
入選夏休みもっと続けよ足りないぞ　園田　響己
友達が夜サングラス大笑い　園田　響己
見わたすと向日葵の咲く散歩道　中田　怜花
夜空見てほほえむ先は天の川　中田　怜花
早乙女の輝く汗と泥まみれ　松垣　香澄
夕暮れに遠く聞こえるひぐらしかな　松垣　香澄

【三年生】

立秋と気づかずにいる泳ぐ人　石塚　想大
夏休み学校でばて保健室　石塚　想大
夕立で時間追われる帰り路か　古森　天空
水鉄砲水ではなくてお湯入れる　古森　天空
夏の夜音や光であふれてる　古森　地球
雨上がり日に照らされた虹を見る　古森　地球
叫び声団員もえる運動会　原田　征良
せんぷうき汗も流さず回ってる　原田　征良
雨がふるかえるケロケロ梅雨の夏　坂本　丈武
夏まつり友達いっぱい楽しそう　坂本　丈武
夏休み課題が残り目がまっか　川内田　響
天の川叶うといいな願い事　川内田　響
汗だくで扉を開ければ夢の世界　黒木　彩華
見わたせばひときわ目立つすいかかな　黒木　彩華
風にのり親子仲良くこいのぼり　前﨑　一姫
光浴び輝く笑顔ひまわりだ　前﨑　一姫